注１　マッピング１によるインターレース割当ては、１周期分のみを示すものとし、「…」は繰り返すことを意味する。

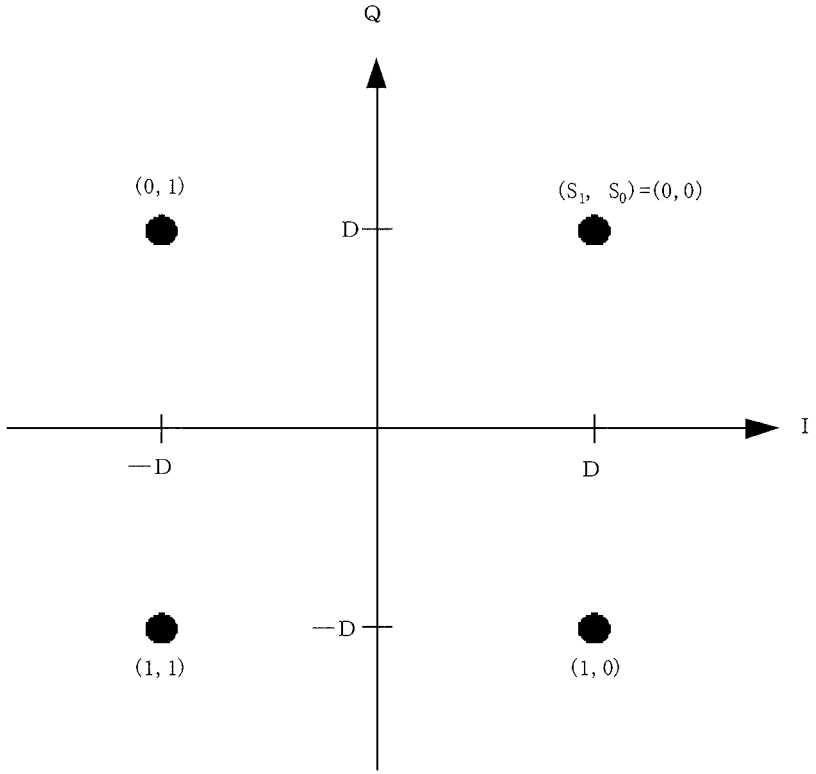
２　ＷＩＣシンボル及びＬＩＣシンボルは、マッピング１によりサブキャリア割当てを行うものとする。

別記２　ＴＤＭパイロット１シンボルのサブキャリア割当て

共通サブキャリア総数	サブキャリア番号
1024	128＋ｉ×128（ｉ＝０，１，２，…，14，16，…，30）
2048	64＋ｉ×64（ｉ＝０，１，２，…，30，32，…，62）
4096	64＋ｉ×32（ｉ＝０，１，…，61，63，…，124）
8192	48＋ｉ×16（ｉ＝０，１，…，124，126，…，250）

別表第三十六号　キャリア変調マッピング（第38条―第40条関係）

１　四相位相変調の位相図



注　ただし、Ｄは伝送主シンボル、ＴＤＭパイロット２シンボル（共通サブキャリア総数が4096の場合を除く。）、ＴＰＣシンボル、ＯＩＳシンボル、スタッフシンボル、ＰＰＣシンボルのうち予約状態のＰＰＣ信号から生成されるもの及びＦＤＭパイロットシンボルにおいては１／$\sqrt{2}$、ＴＤＭパイロット１シンボルにおいては４$\sqrt{4096/N_{FFT}}$（N_{FFT}は共通サブキャリア総数）、ＷＩＣシンボル、ＬＩＣシンボル及びＰＰＣシンボルのうち非アクティブ状態のＰＰＣ信号から生成されるものにおいては２、ＴＤＭパイロット２シンボルのうち共通サブキャリア総数が4096のものにおいては１、ＰＰＣシンボルのうち識別状態のＰＰＣ信号から生成されるものにおいては割当てスロット番号により、以下に示すとおりとし、ＳＰＣシンボルにおいては２$\sqrt{2}$とする。

共通サブキャリア総数	割当てスロット番号	Ｄ
1024／2048／4096	０，１，２，４，６	２／３
1024／2048／4096	３	４／３
8192	０，２，４，６	２／３
8192	１	２$\sqrt{2}$／３
8192	３	４$\sqrt{2}$／３

２　16値直交振幅変調の位相図

